



山陰・山陽

この人

— 広島市 —

2021年に開学した公立の

観啓大学（広島市中区）に4人
いる常勤の英語教育教員のう
ち、唯一の日本人教員だ。同大
は広島市の中心部に立地し、英
語での単位取得に加えて海外で
のインターンシップ活動や留学
を義務化するなど、学生に実践
的な英語力を身につけさせるこ
とを重視。心理学のカウンセリ
ング手法を応用した、英語をク
ラス全体で聞いて反復する独自
の手法を導入するなど、教育プ
ログラムの開発を中心に担って
いる。

「ミス・フラワー」時代の
上杉裕子
さん本人提供



うえ すぎ ゆう こ
観啓大教授 上杉裕子さん(57)

20世紀の米国の女性詩人、シ
ルビア・プラス（1932〜63
年）の研究者でもあり、論文発
表や市民セミナー開催などにも
力を入れている。

「プラスは家庭的な良妻賢母

挑戦続け夢の研究者へ

像と、社会のなかで自立した女
性の狭間で思い悩んだ」。こ
う語るが、大学教員になるまで
の自身のキャリアも平たんでは
なかった。呉市出身で、若い頃

持ちと結婚したいとか、そうい
う話ばかり。私が『貧乏でも好
きな人と結婚したい』と話す
と、あきれられた」

徐々に「私を本当に輝かせる
ものは外見ではなく中身だ」と
考えるようになり、23歳で広島
市内の大学に進学した。元々外
国文学が好きだったことから、
英米文学を専攻。大学入学後に
なった「ひろしまフラワーフェ
スティバル」の「ミス・フラワ
ー」の活動で米国を訪問し、「使

校在学時代からモデル活動を始
める。46歳でようやく呉高専
の准教授に採用され、「研究者
になる夢を実現できた」と話す。

観啓大には開学時から教授と
して携わる。自らの経験を学生
たちに伝えながら、「チャレン
ジすることに意味がある。自分
の殻を破って新しい世界を開拓
しよう」と呼び掛ける。

【中村清雅】



【中村清雅】